

東日本大震災で被災された多くの皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます

2011年3月24日

中央執行委員長 佐藤 正幸

災害対策本部を設置

3月11日に発生した地震により貴い命を落とされた方々に、心より哀悼の意を表します。また、被災された多くの皆さまに、心よりお見舞いを申し上げます。

生保労連としましては、直ちに「災害対策本部」を設置して緊急対応策を決定し、現在これに沿って取組みを進めています。

組合員の安否と被害状況の把握に注力

第一に、各組合と緊密に連携し、各社・各組合の被害状況と支援活動を把握のうえ、全組合で情報の共有化がはかれるよう、最大限の対応に努めています。かつてない甚大な被害だけに、現時点において十分な情報を把握するまでに至っていませんが、引き続き、各組合とともに可能な限りの対応に努めて参ります。

生命保険協会に被災地組合員への特別対応を要請

第二に、3月24日の労使協議会において、生命保険協会に対し、被災地組合員の安全確保に向けた万全の対応と、給与・資格査定等において不利益を被ることのないよう、各社において特別対応・救済措置を講じるよう要請いたしました。また、これにとどまらず、生命保険協会に対しては業界レベルの的確かつ十分な対応を引き続き求めて参ります。

義援金を日本赤十字社と連合緊急カンパへ

第三に、3月23日の生保労連会議において、被災地への義援金として、800万円を日本赤十字社と連合の緊急カンパに寄付することを決定いたしました。また、連合からのボランティア派遣の要請に対しても、直接復旧のお役に立てるよう、生保労連本部からの派遣を前向きに検討したいと考えています。

心を一つにがんばろう

生保の各社・各組合・協会も現在、支援物資（水、食料、毛布、タオルなど）の輸送や義援金の寄付、さらには支援要員の派遣など、さまざまな支援を行っており、その輪は日に日に広がっています。被災地の一日も早い復興をめざして、生保産業で働く仲間が心をひとつに、この難局を乗り越えていきましょう。